

令和5年度国立夜須高原青少年自然の家教育事業

夜須高原ファミリーキャンプ②

～自然に親しむファミリーキャンプ～

【実施報告】

1 趣 旨 手軽に自然体験を楽しみたい家族を対象として、初秋の夜須高原の自然に触れ、活動プログラムや家族間の交流を通して、自然体験の普及啓発を図ることを目的として実施する。

2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家

3 期 間 令和5年9月9日（土）～10日（日） 1泊2日

4 場 所 国立夜須高原青少年自然の家

5 参加者 29名（9家族）

6 活動の様子 別紙参照

7 感 想

①プログラムに関すること

- ・夜に歩くことが楽しかった。
- ・普段はできない森の中の小川、真っ暗な中のハイキングが体験できました。
- ・土星が見られて良かったです。
- ・川遊びがとても気持ちよくて、いろんな生き物を見られた。
- ・コースターづくりで木を焼いたのがとても楽しかったです。
- ・ノコギリやバーナーを子どもに体験させられてよかった。

②事業全体に関すること

- ・スムーズであわてるようなこともなく、じっくり体験できました。
- ・たくさん声をかけていただいて、子どもたちもとても楽しんでいました。
- ・丁寧で一つ一つ分かりやすく対応していただきました。
- ・普段自然の中で何かを体験する機会がとても少ないので、とてもありがたいです。
- ・他家族の方々と交流もでき、とても楽しかったです。

8 成 果

本事業は、自然体験を楽しみたい家族を対象に、自然の家の活動プログラムをベースにした事業であった。自然の家で提供している活動を中心に、川遊びやナイトハイキング、天体観察、焼杉コースターなどを行った。その中で、参加者アンケートより、「普段はできない森の中の小川、真っ暗な中のハイキングが体験できました」や「川遊びがとても気持ちよくて、いろんな生き物を見られた」などの意見を頂いた。普段の生活では味わえない自然体験を参加者に提供できたのではないだろうか。

また、通常の研修支援活動で提供している活動プログラムを体験することにより、自然の家の利用のハードルを下げ、家族単位での通常の利用を促進することができたのではないかと考えられる。

9 課 題

川遊びやナイトハイキングにおいては、年齢や体力などの状況により参加が難しいという参加者がわずかに見られた。そのような参加者にも楽しんでもらえるようなサブプログラムについても考えていきたい。

また、参加者からは職員の見守りについて、重荷になった、という意見も見られたので、参加者へのかかわり方を調整していく必要がある。

6-1. 川遊び



6-2. ナイトハイキング



6-3. 焼杉コースター

